

75 漢字の発音しるし	113	88 絵日記プリント	126
76 漢字チェックシート (1～3年)	114	89 「せんせいあひだ」プリント	127
77 マスが工夫されたノート	115	90 読解アプリで読みと内容理解に寄り添む	128
78 カラーフィルダー	116	91 感想文プリントステップ	129
79 巻頭ガイド	117	92 日記で漢字名人カード	130
80 行間を広げる	118	93 裏紙して文書作成	131
81 フォントの検討	119	94 作文ルールシート	132
82 ルビを活用する	120	95 スタンプを使ってお話をしを楽しく	133
83 気印解答	121	96 日記アプリで記録を継続する	134
84 ねねね「おにくとくさちゃん」	122	97 多様な情報を整理していく	135
85 ねねね「国語こぼれのテーブル」	123	98 解法で思考を整理していく	136
86 お話づくり	124	99 デジタルの辞典で調べやすく	137
87 「様子書簡」でマッピング	125	100 デジタルノートタイク	138

本書の専用サイトで取得できる国語国語の支援教材一覧	139
---------------------------	-----

カラー ① 文字情報に音をつける・音を取り出す	140
-------------------------	-----

カラー ② 入力を手立てにしている	141
-------------------	-----

「子どもたちに“笑顔や自信”を届けるために」 創刊時の言葉	142
-------------------------------	-----

改訂を終えて	143
--------	-----

教材アイデア・データの活用方法

本書では、すぐに使える教材アイデアをデータ (PDF、Excel、Word) で提供しており、以下の専用のサイトからダウンロードして使うことができます。

国語 (P6～8)、3年次の支援教材の作り方・使い方 (P39～138)、支援教材一覧 (P139) のいずれかでデータ名とデータ番号を参照してください。

教材アイデアデータを専用サイトで取得する方法

- ① IPアドレスやタブレット端末などで、以下のURLにアクセスし、Gakken IDでログインしてください。
<https://gbc-library.gakken.jp/>
- ★Gakken IDをお持ちでない方は、取得が必要になります。詳しくはサイト内でご案内しています。
- ② Gakken IDでログイン後、「コンテンツ追加」をクリックしてください。
- ③ 「コンテンツ検索」の下の空欄に、以下のID・パスワードを入力してください。

④ 画面の右にある「コンテンツへ」をクリックすると、ダウンロードできるプリントの教材が出てきます。



【ご注意ください】

- 本書「国語」の教材支援教材はあくまで「国語」の教材として提供されており、他の教科の教材として使用していただくことはできません。
- 印刷時に印刷範囲に注意し、必要に応じて印刷範囲を調整してください。
- データの提供は、PDF、Excel、Word形式で行います。他のアプリケーションソフトで開くことができません。
- 国語のコンテンツは、国語の教科書と対応するよう作成されています。データはダウンロード後に、必要に応じて修正をお願いします。
- ダウンロードは無料ですが、著作権は出版社の権利となります。

1章

「読み・書き」の困難さを理解するために

～「国語のじかん」を支える支援教材

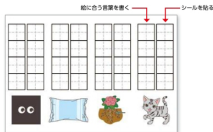
小林倫代



24 ひらがな・カタカナ 促音シールプリント

こんな子どもに ● 促音が抜けてしまったり、促音の位置を間違えたりする

- 促音を含む言葉を大小のシールを貼って示すことで、言葉のリズムや促音の位置を体感させる。
- 大小のシールを貼ることで、促音を表記する場所や大きさの決まりを整理づける。



使う物 シール（大・小）

ページ No. 24

指導のポイント ● シールを貼ってからその横に言葉を書いていく。

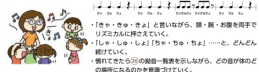
25 ひらがな・カタカナ 拗音体操 ①

こんな子どもに ● 拗音（や・ゆ・よ）を抜かしたり、位置を間違えたりする

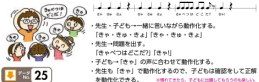
- 拗音表記のルールを、動作化することで、自分で思い出して正しく書くときの手だてを増やす。
- 動作化を通じて拗音が聞き分けられるようにする。



リズムに合わせて動作化しよう



拗音体操クイズをしよう



ページ No. 25

指導のポイント ● スピードを変えたり、濁音を入れたりして、難易度を変える。 ● 朝の会や帰りの会や、授業のほじまりにちょっとしたエクササイズとして取り入れる。

70

漢字

推

付せんで漢字テスト

こんな
子どもに

●漢字の定着が進まない

●初めから書くのではなく、選択肢から選ぶ形式で漢字の学習をスタートし、正しい熟語を見て書く体験を重ねる。読みが想起できる漢字や、お手本があれば正しく書ける漢字を増やしていく。



①テストのプリントの下部に、解答を書いた付せんを貼っておく。



②子どもは、問題文を読んで付せんを選び、解答欄に貼っていく。



③全部貼れたら、解答欄の下に移動させる。



④付せんに書かれた漢字を見ながら、解答欄に書いていく。



⑤書き終わった付せんは外していく。

指導のポイント ●習得状況に応じて、選択肢の数や情報量を変えるなどの工夫をして難易度を調整する（例：前半と後半で付せんの色を変えるなど）。

71

漢字

耳

目

選択式のテスト

こんな
子どもに

●「どうせできない」と漢字テストへの抵抗感が大きい
●練習しても、覚えられず、点が取れない

●自分の力でやり続けられる見通しを持つことで、意欲を支える。
●答えの選択肢を示すことで、問題に合った文字はどれかを考えたり、思い出そうとしたりする体験をさせ、まずはそれを正しく書き写すことで、定着につなげていく。
●実際に応じて負荷を変えていくことで、思い出す手がかりを持ちながらくり返せるようにする。



ヒントカード
テストとは別の紙に、正解をばらばらに書いておく。



テスト

問題文

ヒントカードの例

選択肢の数を変える

選択肢の情報量を変える



指導のポイント ●選択肢の数や情報量を変えて、負荷を調整する。
●まずは負荷を下げて「やり切れる」状態からスタートし、少しずつ負荷を上げていく。